

### ●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

### ●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

### ●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

### 1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれ続ける保育園づくり

### 2. 園目標 ～中期事業計画のテーマを踏まえた～

保育はチーム  
関係プレーで大きな家族  
人に優しく楽しく保育

### 3. 原因分析

#### 達成または未達成の原因および次年度への課題

日々の保育の中で所作に留意し、目標達成に全員が努めた。感染症発生時には、感染拡大防止に留意し消毒等適宜実施できたが、日々の清掃・消毒等を丁寧に実施することが課題である。クラス会議・乳児会議・幼児会議の他にリーダー会議を実施し、園内での連携を深めた。昼礼ノートのデジタル化により、報連相はしっかり行えているが、今後は更にデジタル化を進めていき、情報共有のスピードアップ・業務効率の更なる改善を目指していく。地域社会との関係を築くための活動を増やしていく。

### 4. 開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7:00～20:00
土曜日	8:00～18:00
休園日	日・祝日・12/29～1/3

### 5. 定員数

#### ・利用定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	合計
6人	7人	8人	7人	12人	40人

#### ・目標入所児童数


0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
8人	10人	10人	7人	5人	7人	47人

### 6. 年間行事予定

月	行事等の名称	対象者
4月1日	入園式	園児とその保護者
5月17日	親子レクリエーション	園児とその保護者
6月14日	個人面談	園児とその保護者
7月12日	夏祭り	園児とその保護者

9月5日	パレットスペシャルワンディ	年長クラス園児
10月18日	運動会	園児とその保護者
11月4日～ 25日	保育参観・パレット学習タイム参観	園児とその保護者
1月17日	個人面談	園児とその保護者
2月7日	発表会	園児とその保護者
1月23日～ 2月28日	入園準備会	新入園児とその保護者
3月20日	卒園式	卒園児とその保護者
3月28日	進級説明会	進級園児とその保護者

## 7. SDGsに係る取り組み

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●質の高い保育の実践（日々の振り返り・定期的なクラス会議の実施・姉妹園からの研修保育）をしコミュニケーションの場を多く設け適材適所での活躍の場を設けた。</li> <li>●質の高い給食の提供（手作りで家庭的な食事・旬の食材・郷土料理や行事食・物語メニュー）を提供した。</li> <li>●能力開発プログラムを定期的実施した。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出産・育児にかかる制度の実施と推進</li> <li>●介護に係る制度の周知を適宜した。</li> <li>●充実した休暇制度（お休み希望カレンダーの共有をラインワークスでも実施し休暇が取りやすい環境を整えた）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●働き方向上（チームとして業務分担を行い人に優しく楽しく保育できるように話し合いの機会を意識して設けた。）</li> <li>●充実した年間研修計画（必要な研修を優先的に実施し知識を深めることができたが、シフトにより参加できない研修が多くあった。合同保育の工夫が必須。</li> <li>●キャリアパスの設定（自主性を重んじ将来を見据えた育成を促進した）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域交流（近所の方とお顔の見えるお付き合い・近隣園姉妹園との交流に力を入れ社会性を育めた。）</li> <li>●虐待防止（登園時の視診を確実にこなった）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食品ロスの低減（人数に合った発注の見直しをした）</li> <li>●照明のLED化推進によるCO2排出の削減をした。</li> <li>●設備チェック・整備による使用寿命延長（不備に対して迅速に対応し迅速な対応に留意した）</li> <li>●省エネ・節電（日々意識しておこなった）</li> <li>●エコ活動・リサイクルを取り入れた保育（廃材製作等資源を意識した活動に取り組んだ）</li> </ul>

## 8. 保護者との連携の報告

- ・ コドモンによる家庭との日々の連絡をやりとりし、子どもの成長を共有していく中で必要に応じ個別対応の時間を設けた。
- ・ 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告し成長の喜びを共有した。
- ・ 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの目標や計画を報告できた。
- ・

## 9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ・ 3年に1回、第三者評価を受審（2023年度受審）
- ・ 姉妹園施設長による環境整備チェックを年1回実施し、加湿器設置について改善した。

## 10. セルフモニタリングの実施報告

- ・ 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告をミーティングノートで毎朝確認した。
- ・ 職員会議や昼礼で、共有し再発防止に努めた。
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、全体会議で研修をおこなった。

## 11. 苦情対応・解決の取組

- ・ 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った。
- ・ 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示・しおりに記載するとともに進級説明会で周知した。
- ・ 第三者委員の連絡先を掲示・しおりに記載するとともに進級説明会で周知した。

## 12. 職員の研修

~~→新卒採用については法人本部にて初期研修~~

~~→新卒については、配属前に現場研修~~

- ・ 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した。
- ・ 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加したが、当日参加不可能になることが多かったのでシフトの調整や合同保育の工夫が必須。
- ・ 姉妹園での保育士の交換保育・視察研修を交流保育時も含めて実施した。
- ・ 給食、事務スタッフは年2回の全体研修に参加した。
- ・

## 13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届出した。
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定した。
- ・ 退職金規程を制定した。
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置した。
- ・ 有休休暇の取得率を上げるように表を作成し可視化することで、平等に取得できる仕組みを構築した。

## 14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した。
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診した。(人間ドック希望者は個々で受診した。)
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認をした。
- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努め、感染症発生時には回覧で内容の周知をした。
- ・ 園内にて発生した感染症は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明を丁寧におこなった。

## 15. 安全安心に対する取組

- (1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した。
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した。
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった。
- ・ 事故の振り返りシートの周知とともに、対策について適宜話し合った。

#### (2) 不審者対策

- ・ 不審者対策を目的とした避難訓練を実施し、課題点を見つけ改善した。
- ・ 不審者対応マニュアルにて研修を実施した。
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった。

#### (3) 防火・防災対策

- ・ 毎月避難訓練および消火訓練を実施し、課題には迅速に対応した。
- ・ 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した。
- ・ 危機管理マニュアルにて研修を実施した。
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった。

### 16. 虐待防止の取組。

- ・ 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施し、通報義務についても確認した。
- ~~・ 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有~~

### 17. 給食に対する取組

- ・ 給食マニュアルにて研修を実施した。
- ・ 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上を目指した。
- ・ 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った。

### 18. 地域交流に対する取組

- ・ 地域の人や施設と関わりを持ち、相互理解と連携を図った。
- ・ 子どもたちが地域に対する理解を深め、生活していく場として親しみを感じられるように広域避難場所への避難訓練の実施したり、小学校のお祭りに参加したりした。
- ~~・ 保育の必要にかかわらず、親と子の育ちの場としての役割を持つ~~
- ・ 園児募集の場としての見学会では一人ひとりとお話しし、育児相談等も適宜行った。

●今年度は苦情対応がありませんでした。